

2025 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 S A N E I 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 西 岡 利 明
(コード番号：6230 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 常務取締役執行役員コーポレート本部長 新 田 裕 二
TEL. 06-6972-5955

2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2025 年 5 月 2 日に公表いたしました 2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）の連結業績予想と本日発表の実績の差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 14,500	百万円 950	百万円 950	百万円 650	円 銭 141.98
実 績 値 (B)	14,027	667	695	440	96.30
増 減 額 (B-A)	△472	△282	△254	△209	
増 減 率 (%)	△3.3	△29.7	△26.8	△32.2	
(ご参考)前期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	13,581	662	615	469	102.55

(注) 当社は、2024 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり中間純利益を算定しております。

2. 差異の理由

2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）の売上高につきましては、ホテル・飲食店などの非住宅分野における加飾水栓の需要増に加え、ウルトラファインバブル製品を中心とした高機能・高付加価値製品の販売拡大により堅調に推移しましたが、住宅市場の落ち込みによる需要の低迷もあり前回発表予想値をやや下回る結果となりました。

利益面につきましては、上記の住宅市場の落ち込みに加えて、原材料価格の高止まり、万博関連費用等の計上により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は、前回発表予想値を下回る結果となりました。

なお、通期連結業績予想につきましては、業績に与える影響が大きい原材料価格の動向を含めて現在精査しており、現段階では前回発表を据え置いております。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

以 上